

科目名	経 済 学 A Economics A	科目コード	30441
-----	------------------------	-------	-------

学科名・学年	全学科・5年（プログラム2年）
担当教員	佐藤 公俊（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・選択・1単位
開講時期・時間数	前期，30 時間【内訳：講義 30】
教科書	青才高志編著『現代経済の解説』御茶の水書房（2013）、
補助教材	プリント、ウェブ、プレゼンテーション
参考書	授業中に指示

【A. 科目の概要と関連性】

日本と世界の戦後の経済発展の蓄積様式と様々な経済問題をする。社会経済体制としての資本主義経済や市場経済と外部との関係を考察する。これは社会システムの、社会的必要労働を中心とした経済構造論の確立につとめることである。さらに、市民の自律・協働・連帯による新たな福祉国家体制を検討し、将来のあるべき社会体制を展望する。

○関連する科目：法学、社会学、歴史学Ⅰ（以上前年度履修）、経済学Ⅱ（後期履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 現代の社会経済と福祉社会の基本構造についてのキーワード、概念、論理、理論を理解する。	30%	(a1)
② 日本資本主義とグローバル資本主義の政治経済システムの形成過程と現状、今後の方向性・あり方を理解する。	50%	(a1)
③外部と関係する経済学の現代的社会的な意味を把握する。フェミニズムやジェンダー、福祉国家論などの意味を把握する。	20%	(a1)

【C. 履修上の注意】

新聞記事の経済欄、社会欄に目を通しておくこと。それとともに将来自分が社会人になった場合のことを想定して、自分がどのような社会的立場、ひいてはどのような世界的立場にあるかを考える習慣を身につけてもらいたい。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60 点以上を合格とする。

- 定期試験【 60%】
- レポート等【 40%】

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	ガイダンス：福祉国家とグローバル化、福祉国家の再編	担当：佐藤
2	福祉国家論の開拓者：ウェッブ夫妻について（１）	担当：佐藤
3	福祉国家論の開拓者：ウェッブ夫妻について（２）	担当：佐藤
4	福祉国家論の開拓者：ウェッブ夫妻について（３）	担当：佐藤
5	日本経済のあゆみ（１）：高度成長期	担当：佐藤
6	日本経済のあゆみ（２）：安定成長期	担当：佐藤
7	日本経済のあゆみ（３）：ゼロ成長期	担当：佐藤
8	日本経済のあゆみ（４）：マイナス成長期	担当：佐藤
9	世界経済のあゆみ（１）	担当：佐藤
10	世界経済のあゆみ（２）	担当：佐藤
11	世界経済のあゆみ（３）	担当：佐藤
12	世界経済のあゆみ（４）	担当：佐藤
13	金融システムの変容と金融の再編	担当：佐藤
14	産業・経営システム、労働と格差	担当：佐藤
－	前期末試験	試験時間：80 分
15	試験解説と発展授業	担当：佐藤